

ヒマワリの開花が始まりました！

杉並区立井草森公園（井草 4 - 12 - 1）に植えられた 1500 本あまりのヒマワリが、夏の空に向かって花を開き始め、来園者を楽しませています。このヒマワリは、区と交流のある北海道名寄市から贈られた種を保育園児が蒔いたもので、8月中旬まで花を楽しむことができます。

井草森公園は「花の名所」として区民に親しまれている緑あふれる公園で、季節毎に菜の花やキバナコスモスが楽しめます。このひまわりは、北海道名寄市から、種を贈られたものです。名寄市は、杉並区と平成元年に「交流自治体協定」を締結した北海道の北部の大自然に恵まれたまちです。基幹産業は農業で、もち米やアスパラガスの産地として有名です。また、最近ではひまわりが咲き誇るまち「ひまわりのまち」としても注目されています。ひまわりの種を原料にしたクッキーやサンフラワーオイルなど人気の商品も産み出されています。

5月下旬、井草森公園の「芝生広場」に隣接する 200 m²ほどの花壇に、近隣の保育園児 350 人がヒマワリの種蒔きをしました。その種が順調に生育し 1500 本ほどになり、花を咲かせ始めました。このヒマワリの品種は、「ビッグスマイル」というもので、背丈が 50cm ほどですが、直径 25cm ほどの大きな花が咲いています。

隣接する芝生広場は、小さな子どもを連れた多くの親子連れの利用がしています。このヒマワリは、背丈の小さいため子どもたちでも、覗き込むようにその花を鑑賞することができます。ヒマワリの名前のとおり、愛くるしい姿は来園者を笑顔にしています。



公園事務所のスタッフによると、ヒマワリは8月中旬頃まで楽しめますので、夏休みを利用して家族や友人とのんびりとお出かけいただきたい」と話していました。

【報道機関 問い合わせ先】

都市整備部北公園緑地事務所 電話 3 3 9 6 - 5 2 6 1
総務部広報課 電話 3 3 1 2 - 2 1 1 1